

2023年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
 コード番号 3668 URL <https://colopl.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 貴志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 原井 義昭 TEL 03(6721)7770
 定時株主総会開催予定日 2023年12月22日 配当支払開始予定日 2023年12月26日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期の連結業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	30,926	△5.0	2,858	△33.7	3,276	△42.8	1,893	△21.6
2022年9月期	32,541	△12.3	4,310	△31.8	5,732	△26.9	2,414	△20.8

（注）包括利益 2023年9月期 2,178百万円（△31.5%） 2022年9月期 3,179百万円（1.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	14.76	—	2.5	4.0	9.2
2022年9月期	18.84	18.83	3.2	7.0	13.2

（参考）持分法投資損益 2023年9月期 ー百万円 2022年9月期 ー百万円

（注）2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	81,695	76,234	93.3	594.26
2022年9月期	83,280	76,575	91.9	597.24

（参考）自己資本 2023年9月期 76,229百万円 2022年9月期 76,569百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	1,159	8,237	△2,567	58,167
2022年9月期	3,637	△593	△2,538	50,914

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	2,564	106.1	3.4
2023年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	2,565	135.5	3.4
2024年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）2024年9月期の配当額は未定であります。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当連結会計年度において、株式会社 Brilliantcryptoを設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.12「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年9月期	130,055,005株	2022年9月期	129,984,023株
2023年9月期	1,778,684株	2022年9月期	1,778,544株
2023年9月期	128,258,663株	2022年9月期	128,147,982株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績(2022年10月1日~2023年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	23,185	△2.5	2,976	△22.9	3,356	△25.5	2,472	55.3
2022年9月期	23,775	△14.8	3,859	△30.8	4,505	△19.8	1,591	33.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期	19.28	—
2022年9月期	12.42	12.41

(注) 2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	77,719	73,389	94.4	572.12
2022年9月期	78,839	73,247	92.9	571.33

(参考) 自己資本 2023年9月期 73,389百万円 2022年9月期 73,247百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方.....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しております。エンターテインメント事業では、ユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運営及び新規タイトルの開発に注力してまいりました。投資育成事業では、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は30,926百万円（前連結会計年度比5.0%減）、営業利益は2,858百万円（同33.7%減）、経常利益は3,276百万円（同42.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,893百万円（同21.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

a. エンターテインメント事業

エンターテインメント事業は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っております。

当連結会計年度において、売上の多くを占めるスマートフォン向けゲームでは、新作タイトル「白猫GOLF」、 「MONSTER UNIVERSE」及び「とらべる島のにゃんこ」の配信を開始しました。既存タイトルにおいては、他社IPタイトル「ドラゴンクエストウォーク（企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社）」が好調に推移し、当社グループの連結業績に貢献しました。また、自社IPタイトル「白猫プロジェクト」及び「アリス・ギア・アイギス」が人気IPとのコラボイベントを実施するなど、ユーザーとのエンゲージメントを高めるサービス提供を行ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は29,914百万円（前連結会計年度比6.0%減）、営業利益は3,410百万円（同26.8%減）となりました。

b. 投資育成事業

投資育成事業は、主にIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

当連結会計年度において、当社グループ出資ファンドにおける営業投資有価証券の売却等による収益が発生しました。また、保有する営業投資有価証券の一部について減損処理を行いました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,011百万円（前連結会計年度比39.6%増）、営業損失は554百万円（前連結会計年度は353百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は74,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,028百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金と営業投資有価証券が減少したことによるものであります。

また、固定資産は6,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,442百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は81,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,585百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,366百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は1,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は5,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,244百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は76,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ340百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が増加したものの、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7,253百万円増加し、58,167百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは1,159百万円の増加（前連結会計年度は3,637百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3,276百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは8,237百万円の増加（前連結会計年度は593百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入10,000百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは2,567百万円の減少（前連結会計年度は2,538百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額2,567百万円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
自己資本比率（%）	92.9	88.3	93.7	91.9	93.3
時価ベースの自己資本比率（%）	304.2	133.7	127.5	104.7	92.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	—	—	—

自己資本比率（%）：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率（%）：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）：キャッシュ・フロー／利払い

（注）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

2024年9月期につきましては、引き続きユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運営及び新規タイトルの開発に注力してゆくことで、持続的な成長を目指してまいります。また、IT関連・エンターテインメント企業等を対象として積極的に投資してまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきまして、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,330	57,960
売掛金及び契約資産	4,910	4,733
営業投資有価証券	10,334	9,908
商品	106	74
仕掛品	419	362
貯蔵品	5	5
前払金	431	461
前払費用	460	673
その他	939	729
貸倒引当金	△21	△21
流動資産合計	77,917	74,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,095	2,146
減価償却累計額及び減損損失累計額	△413	△517
建物及び構築物 (純額)	1,681	1,628
工具、器具及び備品	702	754
減価償却累計額及び減損損失累計額	△547	△608
工具、器具及び備品 (純額)	154	146
建設仮勘定	1	5
有形固定資産合計	1,837	1,780
無形固定資産		
ソフトウェア	21	20
無形固定資産合計	21	20
投資その他の資産		
投資有価証券	1,473	2,833
関係会社株式	3	212
関係会社出資金	20	129
敷金及び保証金	1,717	1,654
繰延税金資産	133	120
その他	162	55
貸倒引当金	△6	△0
投資その他の資産合計	3,503	5,004
固定資産合計	5,363	6,805
資産合計	83,280	81,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68	67
未払金	2,239	2,226
未払費用	602	610
未払法人税等	1,923	380
未払消費税等	100	183
前受金	452	574
預り金	231	228
その他	75	56
流動負債合計	5,694	4,327
固定負債		
資産除去債務	727	745
繰延税金負債	259	361
その他	23	26
固定負債合計	1,011	1,133
負債合計	6,705	5,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,587	6,610
資本剰余金	6,328	6,350
利益剰余金	67,028	66,358
自己株式	△4,645	△4,645
株主資本合計	75,299	74,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,083	1,206
為替換算調整勘定	186	348
その他の包括利益累計額合計	1,269	1,555
非支配株主持分	6	5
純資産合計	76,575	76,234
負債純資産合計	83,280	81,695

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,541	30,926
売上原価	22,704	21,523
売上総利益	9,836	9,402
販売費及び一般管理費	5,526	6,543
営業利益	4,310	2,858
営業外収益		
受取利息	55	223
為替差益	1,204	290
投資有価証券売却益	428	354
デリバティブ運用益	37	—
雑収入	133	58
営業外収益合計	1,860	926
営業外費用		
投資有価証券評価損	48	—
投資有価証券売却損	361	136
デリバティブ運用損	—	364
雑損失	29	7
営業外費用合計	438	508
経常利益	5,732	3,276
税金等調整前当期純利益	5,732	3,276
法人税、住民税及び事業税	2,232	1,352
法人税等調整額	1,085	31
法人税等合計	3,318	1,383
当期純利益	2,414	1,892
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,414	1,893

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	2,414	1,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	622	122
為替換算調整勘定	142	162
その他の包括利益合計	765	285
包括利益	3,179	2,178
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,180	2,179
非支配株主に係る包括利益	△0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,556	6,296	67,037	△4,645	75,245
会計方針の変更による累積的影響額			135		135
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,556	6,296	67,173	△4,645	75,381
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	6	6			13
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	24	24			49
剰余金の配当			△2,559		△2,559
親会社株主に帰属する当期純利益			2,414		2,414
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	31	31	△145	—	△82
当期末残高	6,587	6,328	67,028	△4,645	75,299

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	461	43	504	1	75,751
会計方針の変更による累積的影響額					135
会計方針の変更を反映した当期首残高	461	43	504	1	75,887
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					13
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)					49
剰余金の配当					△2,559
親会社株主に帰属する当期純利益					2,414
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	622	142	765	5	770
当期変動額合計	622	142	765	5	688
当期末残高	1,083	186	1,269	6	76,575

当連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,587	6,328	67,028	△4,645	75,299
当期変動額					
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	22	22			45
剰余金の配当			△2,564		△2,564
自己株式の取得				△0	△0
親会社株主に帰属する当期 純利益			1,893		1,893
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					
当期変動額合計	22	22	△670	△0	△625
当期末残高	6,610	6,350	66,358	△4,645	74,673

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,083	186	1,269	6	76,575
当期変動額					
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)					45
剰余金の配当					△2,564
自己株式の取得					△0
親会社株主に帰属する当期 純利益					1,893
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	122	162	285	△0	284
当期変動額合計	122	162	285	△0	△340
当期末残高	1,206	348	1,555	5	76,234

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,732	3,276
減価償却費	351	335
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△6
為替差損益 (△は益)	△1,262	△296
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△1,409	524
投資有価証券売却損益 (△は益)	△67	△218
投資有価証券評価損益 (△は益)	48	—
デリバティブ運用損益 (△は益)	△37	364
売上債権の増減額 (△は増加)	△207	176
棚卸資産の増減額 (△は増加)	37	89
仕入債務の増減額 (△は減少)	17	△0
未払金の増減額 (△は減少)	△166	△17
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△52	82
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	86	33
前受金の増減額 (△は減少)	△420	122
前払費用の増減額 (△は増加)	△54	△167
その他	673	△449
小計	3,261	3,849
利息及び配当金の受取額	92	242
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	283	△2,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,637	1,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,065	△124
資産除去債務の履行による支出	△428	△0
無形固定資産の取得による支出	△5	△8
投資有価証券の取得による支出	△3,623	△4,823
投資有価証券の売却による収入	4,047	3,825
関係会社株式の取得による支出	—	△209
関係会社出資金の払込による支出	—	△110
敷金及び保証金の差入による支出	△9	—
敷金及び保証金の回収による収入	423	40
先物決済による収入及び支出 (△は支出)	28	△356
その他	39	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△593	8,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	19	—
配当金の支払額	△2,557	△2,567
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,538	△2,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,355	423
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,861	7,253
現金及び現金同等物の期首残高	49,052	50,914
現金及び現金同等物の期末残高	50,914	58,167

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別のセグメントから構成されており、「エンターテインメント事業」、「投資育成事業」の2つを報告セグメントとしております。「エンターテインメント事業」は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っております。「投資育成事業」は、主にIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,817	724	32,541	—	32,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,817	724	32,541	—	32,541
セグメント利益又は損失 (△)	4,661	△353	4,307	2	4,310
セグメント資産	68,718	14,562	83,280	—	83,280
その他の項目					
減価償却費	351	—	351	—	351
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) 3	1,201	—	1,201	—	1,201

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務に対応する資産の増加額を含めておりません。
 4. 投資育成事業のセグメント資産の主な内訳は、営業投資有価証券10,334百万円、その他投資用資金などとなっております。
 5. セグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,914	1,011	30,926	—	30,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,914	1,011	30,926	—	30,926
セグメント利益又は損失 (△)	3,410	△554	2,856	2	2,858
セグメント資産	67,483	14,211	81,695	—	81,695
その他の項目					
減価償却費	335	—	335	—	335
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) 3	139	—	139	—	139

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務に対応する資産の増加額を含めておりません。
4. 投資育成事業のセグメント資産の主な内訳は、営業投資有価証券9,908百万円、その他投資用資金などとなっております。
5. セグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	597.24円	594.26円
1株当たり当期純利益	18.84円	14.76円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	18.83円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	76,575	76,234
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	6	5
(うち非支配株主持分(百万円))	6	5
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	76,569	76,229
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	128,205,479	128,276,321

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,414	1,893
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,414	1,893
期中平均株式数(株)	128,147,982	128,258,663
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	－	－
普通株式増加数(株)	111,599	－
(うち新株予約権(株))	(111,599)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。